

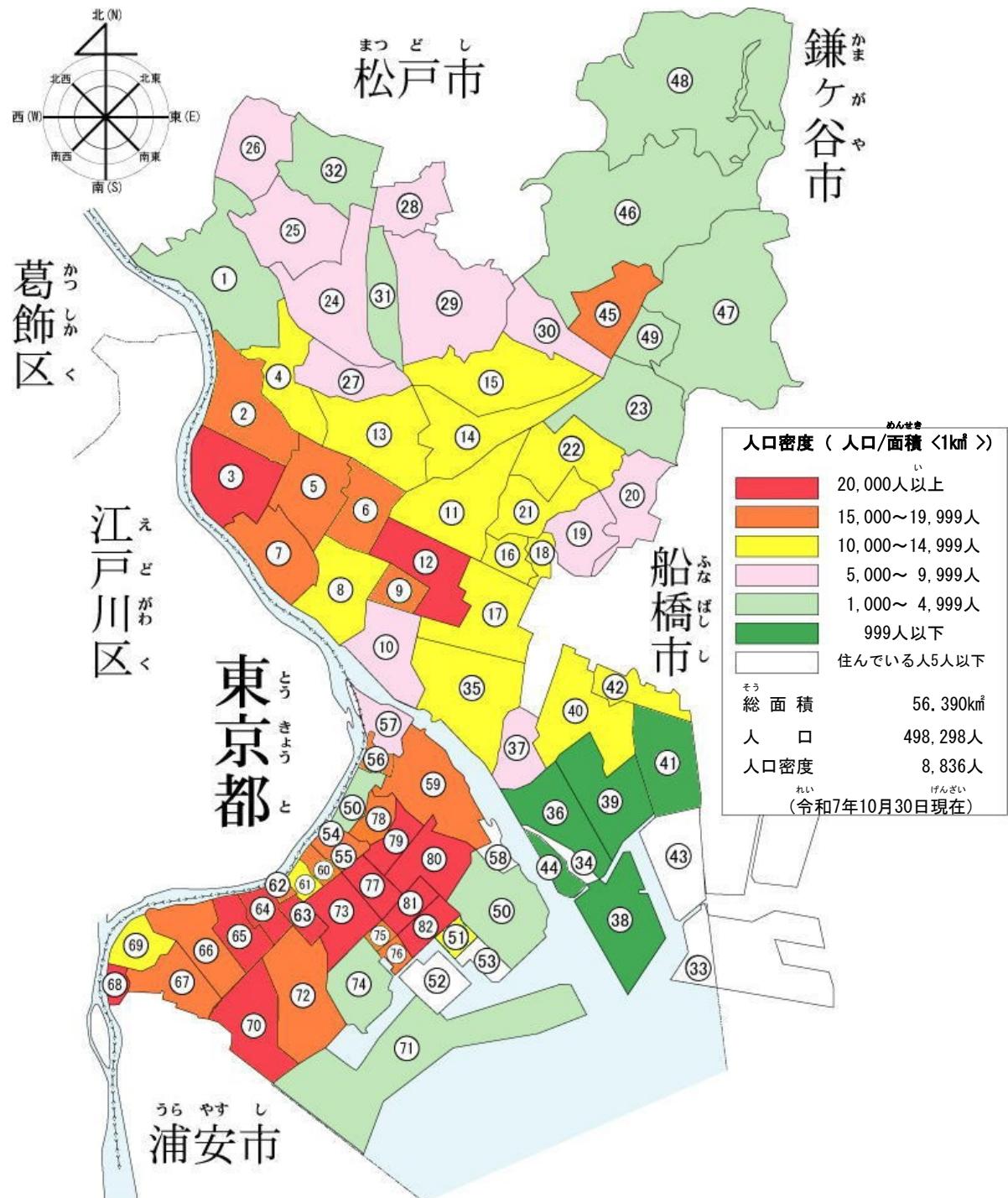
しりょう
【資料の広場】

◆市川市の町名と人口密度

町名	町名	町名	町名
①国府	台	②4国	分
いち	かわ	なか	ぶん
②市川	川	②5中	國
いち	かわ	きた	ぶん
③市川	川	②6北	國
ま	ま	す	わ
④真間	間	②7須和	田
しん	でん	いな	ごし
⑤新田	田	②8稻	越
ひら	た	そ	や
⑥平田	田	②9曾	谷
おお	す	しも	づか
⑦大洲	洲	③0下	貝
おお	だ	ひがし	塚
⑧大和	田	③1東	國
ひがし	だ	ほり	分
⑨東大和	田	③2堀	之
とう	ぎ	ひがしま	内
⑩稻荷	木	③3東浜	1丁
や	わた	た	目
⑪八幡	幡	③4田	尻
みなみ	わた	たじり	
⑫南八幡	幡	③5田尻	1~5丁目
すが	の	こう	
⑬菅野	野	③6高	谷
ひがし	すが	こうや	
⑭東菅野	野	③7高谷	1~3丁目
みや	ぼ	こうや	しんまち
⑮宮保	保	③8高谷	新町
おに	ごえ	ばら	き
⑯鬼越	越	③9原	木
おに	たか	ばらき	
⑰鬼高	高	④0原本	1~4丁目
たか	いし	ふた	また
⑱高石	石	④1二	俣
なか	やま	ふたまた	
⑲中山	山	④2二俣	1~2丁目
わか	みや	ふた	また
⑳若宮	宮	④3二俣	新町
きた	かた	かみ	みよう
㉑北方	方	④4上	妙典
もと	かた	みなみ	の
㉒本北	方	おお	野
ぼつ	けまち	おお	まち
㉓北方町	4丁目	④6大	野町
かしわ	井	まち	
④7柏	おお	まち	
④8大	ほう	まち	
④9奉	ほん	免	
⑤0本	か	行	
⑤1加	ち	とく	
⑤2千	たか	徳	
⑤3高	せき	行	
⑤4関	い	にい	
⑤5伊	しも	徳	
⑤6下	か	新	
⑤7河	しも	の	
⑤8下	みよう	之	
⑤9妙	おし	の	
⑥0押	おし	之	
⑥1	みなど	の	
⑥2湊	しん	の	
⑥3湊	みなどしんでん	の	
⑥4香	かけ	の	
⑥5欠	あい	の	
⑥6相	あら	の	
⑥7新	しま	の	
⑥8島	ひろ	の	
⑥9広	ひろ	の	
みなみ	ぎょう	とく	
⑦0南	しお	徳	
⑦1塩	ふく	浜	
⑦2福	ぎょう	えい	
⑦3行	とく	榮	
⑦4新	いり	まえ	
⑦5入	ひ	前	
⑦6日	すえ	はま	
⑦7末	ほん	浜	
⑦8本	とみ	ふね	
⑦9富	しお	船	
⑦0塩	しお	出	
⑦1宝	さいわい	ひろ	
⑦2幸	さいわい	広	
たから		塩	
幸		はま	
焼		浜	
		やき	
		焼	

あなたの住んでいる地図のようすはどうですか？

ほかの地図とくらべてみましょう。



◆市川市のうつりかわり

時代	めいじ時代					
年	一八七五 (明八)	一八九〇 (明二八)	一八九五 (明三八)	一九〇五 (明四〇)	一九〇七 (明四三)	一九〇七 (明四〇)
主なできごと	<p>市川町・八幡町・行徳町・中山村・五常村(国分村)・大柏村・南行徳村が誕生した。(明治二二)</p> <p>国府台に軍たいがおかれた(明治一九)</p>					
人々の暮らし	<p>国分でぶどう作りがはじまつた。</p> <p>八幡で梨作りがさかんに行われていた。</p> <p>行徳で塩作りが行われていた。</p> <p>中山が法華経寺の門前町としてさかえていた。</p> <p>このころ、さかえていたのは行徳のあたりだった。</p>					
学校	<p>中山小のもとにになる学校ができるた。(明治九)</p> <p>信篠小のもとにになる学校ができるた。(明治八)</p> <p>市川小ができるた。(明治七)</p> <p>八幡小・国分小・大柏小・行徳小・南行徳小ができるた。(明治六)</p>					
そのほか(交通)	<p>東京と成田の間に、はじめて鉄道がしかれ市川駅ができるた。(明治二七)</p> <p>江戸川橋(木の橋)ができるた。(明治三八)</p> <p>下総中山駅ができるた。(明治二八)</p> <p>市川と佐倉の間に、はじめて鉄道がしかれ市川駅ができるた。(明治一六)</p> <p>東京と成田の間に乗合馬車ができるた。(明治一〇)</p> <p>蒸気船が江戸川をとおった。</p>					
人口(人)						

市川に発電所ができ、真間と国府台で電とうがはじめてついた。

このころから、市川の中心が行徳から鉄道のまわりにかわってきた。

南行徳でのりを作りはじめた。

信篠小ができるた。(明治二九)

京成電鉄がはじめて、江戸川と真間の間をとおり、京成国府台駅と真間駅ができるた。

(明治四三)

鎌ヶ谷と行徳の間に人車鉄道がとおった。(明治四〇)

京成電鉄

時代	昭和時代				
年	一九五五 (昭三〇)	一九五六 (昭四〇)	一九六〇 (昭四五)	一九七〇 (昭五〇)	一九七五 (昭五五)
主なできごと	台風で真間川があふれ真間や菅野がひがいをうけた。 (昭和三二)	行徳海岸のうめ立てがはじまつた。 (昭和三四)	アメリカのガーデナ市と姉妹都市となる。 (昭和三七)	終末処理場・市川考古博物館ができた。 (昭和四七)	行徳にも住たくや大きなマンションがたつようになった。
人々の暮らし	このころ新田でいちご作りがさかんにおこなわれていた。 (昭和三二)	このころ新田でいちご作りがさかんにおこなわれていた。 (昭和三二)	このころ国電の南がわの新田や大洲に工場がたてられるようになつた。 (昭和三七)	行徳のうめ立て地に大きな工場がたてられるようになつた。 (昭和三七)	行徳にも住たくや大きなマンションがたつようになった。
学校	稻荷木小・鬼高小ができた。 (昭和三二)	菅野小・第六中・市立ようご学校ができた。 (昭和三二)	第七中ができた。 (昭和三七)	二俣小ができた。 (昭和四五)	新井小・南新浜小・大野小・東国分中ができた。 (昭和五五)
そのほか(交通)	京葉道路ができた。 (昭和三五)	一六〇〇〇〇 (昭和三五)	一六〇〇〇〇 (昭和三五)	二〇〇〇〇〇 (昭和四〇)	二六〇〇〇〇 (昭和四五)
人口(人)	一四〇〇〇〇 (昭和三〇)	一三〇〇〇〇 (昭和三〇)	一六〇〇〇〇 (昭和三五)	二六〇〇〇〇 (昭和四五)	三四〇〇〇〇 (昭和五二)

昭和時代		平成時代	
二〇一八 (平三〇)	東京外かく環状道路が開通した。 (平成二三)	二〇一〇 (平二二)	東日本大しんさいがおきた。 (平成二二)
二〇一一 (平二三)	市川駅南口地区の再開発が完了した。 (平成二二)	二〇〇〇 (平一二)	市川駅南口地区の再開発が完了した。 (平成二二)
一九八〇 (昭六〇)	ドイツのローゼンハイム市とパートナーシティとなつた。大洲防災公園ができました。	一九九〇 (平二)	ドイツのローゼンハイム市とパートナーシティとなつた。大洲防災公園ができました。
一九八〇 (昭六〇)	市川市リハビリテーション病院ができた。 (平成一〇)	一九九〇 (平二)	市川市リハビリテーション病院ができた。 (平成一〇)
市民プール・少年自然の家・市川歴史博物館ができた。 (昭和五七)	阪神・淡路大しんさいがおきた。 (平成七)	メディアパーク市川・市川市クリーンセンターができました。 (平成六)	阪神・淡路大しんさいがおきた。 (平成七)
中国の楽山市と友好都市になつた。台風で須和田や東国分が大水のひがいをうけた。 (昭和五六)	インドネシアのメダン市と姉妹都市になつた。塩浜体育馆ができた。 (昭和六〇)	メディアパーク市川・市川市クリーンセンターができました。 (平成元)	インドネシアのメダン市と姉妹都市になつた。塩浜体育馆ができた。 (昭和六〇)
根本排水機場ができた。	南行徳にも住たくやマンションができた。	妙典中ができた。 (昭和六三)	須和田の丘支援学校稻越校舎ができた。 (平成二〇)
大野あたりに住たくやマンションがふえはじめた。	福栄小・南行徳中ができた。 (昭和六〇)	妙典中ができた。 (昭和六三)	須和田の丘支援学校稻越校舎ができた。 (平成二〇)
塩焼小・稻越小・塩浜小ができた。 (昭和五六)	大和田小ができた(昭和五八)大洲中・塩浜中ができた。 (昭和五七)	京葉線が開通し、二俣新町・市川塩浜駅ができた。 (昭和六三)	北総開発鉄道が開通し、北国分駅・松飛台駅・大町駅ができた。 (平成二)
地下鉄東西線南行徳駅ができた。 (昭和五六)	国鉄がJRとなつた。 (昭和六二)	地下鉄新宿線本八幡駅ができた。 (平成元)	北総開発鉄道が開通し、北国分駅・松飛台駅・大町駅ができた。 (平成二)
三七〇〇〇〇 (昭和五六)	四一〇〇〇〇 (昭和六二)	四四〇〇〇〇 (平成六)	四六〇〇〇〇 (平成一九)
四七〇〇〇〇 (平成一九)	四七〇〇〇〇 (平成一九)	四七〇〇〇〇 (平成一九)	四八〇〇〇〇 (平成二九)

時代	れいわ時代		
年	二〇二〇 (令三)	二〇二一 (令三)	二〇二五 (令七)
主なできごと	<p>東京オリンピック・パラリンピック二〇二〇が一年延期で実施された。 (令三)</p> <p>市川市で「国府サミット」が開催された。 (令七)</p>		
人々の暮らし			
学校	<p>小中一貫型小学校・中学校 信篤三つ葉学園がスタートした。 (令和四)</p> <p>小中一貫型小学校・中学校 東国分爽風学園がスタートした。 (令和三)</p>		
そのほか(交通)			
人口(人)	四九〇〇〇〇 (令和二)		